

西特だより



是非、ご覧ください！

<地域と共に歩む学校を目指して>

本校の教育に対し、御理解と御協力をいただきましてありがとうございます。

さて、この地で教育を始めて7年目が経とうとしています。

本来でしたら、この7年間で「地域に開かれた学校」を目指すところでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の皆様との関わりが遠のいてしまいました。今年度、新型コロナウイルス感染症も5類になり、学校の教育活動では、授業で地域に出掛ける機会が増えました。

地域の皆様への情報発信としましては、本校で行っている「エコキャップ運動」や「ボランティア募集（西特サポーター）」のチラシを各自治体の回覧板の中に入れていただき、本校で実施している活動やボランティア募集について周知させていただきました。

地域の皆様にボランティアとして来校いただき、児童生徒が多くの方とのかかわりを増し、標題に示した地域とともに歩む学校を目指していきたいと考えております。

来年度に向けて読書ボランティアや掃除のボランティアなど、現在8人の方が登録していただいています。

学校、保護者、地域の皆様と様々な活動を行い、学校づくりを行っていきます。

<特別支援教育のセンター的役割を活かして>

特別支援学校は地域の特別支援教育のセンター的機能を担っています。

子供たちの発達や支援方法などについての相談に教育支援課のコーディネーター等が対応します。特に、本校は県下に4校ある肢体不自由特別支援学校の1校であり、肢体不自由児の教育や支援についての専門性を高めています。



教材教具の紹介

相談内容例

- ・ 子供の実態に応じた学習支援
 - ・ 姿勢の保持や身体の動かし方
 - ・ ICT を活用した学習例の紹介
 - ・ 本校で活用している教材教具についての情報提供
- など



「視線入力装置」



「家電スイッチ」

副校長 和久田欣慈

☆小学部☆ 思い出いっぱい、6年生！

6年生は6年間、経験と学習を積み重ね、この3月にいよいよ小学部を卒業します。いろいろな思い出ができました。

一つ目に、全員そろって出掛けた修学旅行です。浜松市科学館やヤマハイノベーションロードで体験活動をしたことや、オークラアクティホテル浜松に宿泊し、コース料理を食べたり展望台へ上ったりしたことが思い出となりました。

二つ目は、小学生最後の学校間交流です。都田南小学校の皆さんと共に器楽演奏をしました。最後に、お互いに中学生になっても元気に頑張ることを誓い合い別れました。

小学部での思い出を大切にし、中学生になってもいろいろな挑戦をしていきます。



☆中学部☆ 聖隷クリストファー中学校と交流しました！

聖隷クリストファー中学校との交流を実施しました。

各学習グループに分かれて、ポッチャを一緒に行いました。本校の生徒は同世代の中学生との交流を通じて、いつもは見られないようなコミュニケーションが生まれたり、多くの笑顔が見られたりして、有意義な交流となりました。後日届いたお礼のお手紙には温かい言葉に素敵なイラストが添えられていたものもあり、とてもうれしく受け取りました。



☆高等部☆ 将来の生活や進路を考える機会になりました！

1学期より職業の時間を使って、事業所の種類や1日の流れなどについてグループに分かれて調べる活動を行ってきました。

今回は、A型事業所・B型事業所・生活介護が含まれる「浜松学園」を見学してきました。働いている様子を見て仕事内容をメモしたり、活動を見て自分もやってみたいと教師に言ったりする場面が見られました。また、職員から施設の説明を受けた後に「車椅子でも働けますか。」「働くために今からやっておくことは何ですか。」など将来の利用も視野に入れて質問をする姿も見られました。



☆訪問教育☆ タブレットを使った遠隔合同授業が盛んです！

一人一台タブレットを使うようになってから、ZOOMアプリを使っての遠隔合同授業の機会が少しずつ増えてきました。

タブレットの画面から、担任とは違う声が聞こえたり友達の出す音や息遣いが聞こえたりすると、脈拍が高くなったり手や頭を動かしたりと、それぞれの方法で感じたことやドキドキした気持ちをあらわしていました。「友達」の存在を身近に感じるよい機会となりました。

